

トーク台本5(かんたん版・修正版)

相続方針整理資料の説明・反応確認(家族ナビ／電話)

目的:資料の内容を分かりやすく伝え、大きな違和感がないかを確認し、家族の反応を主担当士業へ共有します。その場で結論・調整・結論づけは行いません。

① 冒頭・場の定義

「本日はお時間をいただき、ありがとうございます。被相続人様が確認された相続方針整理資料について、ご説明とご確認のお電話です。」
「今日は何かを決める場ではありません。まず内容をご理解いただき、大きな違和感がないかを確認するためのお時間です。」

② 前提の説明

「今回の資料は、ご家族それぞれへのヒアリング内容を協会で整理し、担当士業が検討したうえで、被相続人様ご本人に確認いただいた内容です。」
「今日は新たに調整する場ではなく、まずこの内容をご理解いただき、ご認識を確認します。」

③ 家族ナビの役割

「私の役割は、資料を分かりやすく説明し、ご意見や反応を整理して主担当士業へ伝えることです。この場で判断したり、内容を変更したりすることはありません。」

④ 内容説明

「それでは、資料の要点をご説明します。今回の方向性は、○○という考え方で整理されています。」
※細部を長く説明しすぎず、全体像と重要な点を優先します。

⑤ 反応の確認

「この場で結論を出していただく必要はありません。まず内容を聞いて、どのように感じられましたか。」
「大きな違和感はありませんか。気になる点や確認しておきたい点がありますか。」

⑥ 反応の受け止め方

「ありがとうございます。その点は大切なご意見として、そのまま主担当士業へお伝えします。」
「この場でお答えや調整をするのではなく、まず反応を整理して共有します。」

⑦ 違和感が大きい場合

「大きな違和感がある場合は、その点を主担当士業へ共有し、必要に応じて被相続人様にも再確認していただく流れになります。」
「今日は結論を出す必要はありません。率直なお気持ちをお聞かせください。」

⑧ 締め

「本日伺ったご意見や反応は整理して主担当士業へ共有します。本日はありがとうございました。」

NG:その場でまとめる／説得する／調整する／被相続人の考えを変える前提で話す／法的判断をする